とよの
令和2年9月（2020.9）
No.544

編　集／豊能町役場　総務部秘書人事課　発行／令和2年（2020年）9月1日（毎月1回1日発行）
〒563-0292 大阪府豊能郡豊能町余野414番地の1　☎072-739-0001(代) 3413(直)　FAX 072-739-1980
✉hisho@town.toyono.osaka.jp

エネルギーを変える。まちが変わる。
まちづくりを行う まちのエネルギー会社を設立！

能勢町・豊能町と一般社団法人地域循環型まちづくり推進機構（能勢町）が共同出資して、電力の小売を行うまちのエネルギー会社「（株）能勢・豊能まちづくり」を設立しました。公共施設はこのエネルギー会社から電力の供給を受けることで、電気料金が削減されるとともに、再生可能エネルギー比率の高い電力で環境負荷を抑えながら役場の業務を行います。一般家庭や民間施設に対しても、来年度以降に電力供給を開始する予定です。詳細については、今後、同社HP等でお知らせいたします。

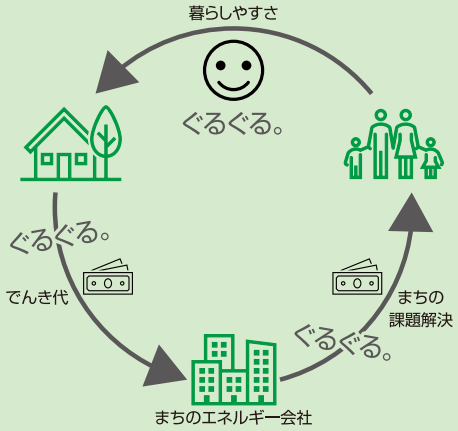
※ご家庭等で契約の電力会社からの切替を強制するものではありません。切替は任意で行ってください。

https://nose-toyono.com/

わたしたちのまちのエネルギー会社、はじめます

株式会社　能勢・豊能まちづくり

でんき代の一部でちょっぴりわたしたちのまちがよくなったらいいなと思いませんか?
まちのでんき代をすこーしずつ集めて、まちの「いま」と「みらい」のために使う。
まちのなかでエネルギーがまわり、お金もまわる。ぐるぐるぐるぐる。
そんなわたしたちのまちのエネルギー会社、はじめます。



なぜ自治体が関与するの?

地域エネルギー会社の最終的な事業目的は地域創生です。環境への貢献だけではなく、電気を販売することで生じた利益を「交通」や「防災」、「教育」などの住民サービスに還元します。地域内で少しずつ経済を循環させ、その収益を地域創生のために使います。

主な目的

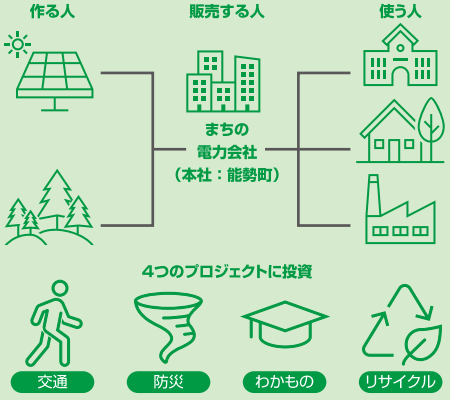
- エネルギーの地産地消（地域雇用・経済循環の創出）
- 電気料金の削減
- 再生可能エネルギーの利用促進
- 地域の生活支援サービスの充実

まちのエネルギー会社とは?

2016年の電力小売自由化以降、再生可能エネルギーの普及、再生可能エネルギーの地産地消による地域経済の活性化、地域雇用の創出等を目的とした地域エネルギー会社の設立が全国で進んでいます。地域エネルギー会社は電力の小売りを行う言わば電気の販売店です。太陽光発電や風力発電のような発電所からの電気を買い集めてきて、町の施設に届けます。なお、自治体が出資する地域のエネルギー会社は全国で約50存在し、その数は年々増えています。

持続可能なまちづくり
―里山未来都市の実現を―

近年、自然災害が大規模化しています。平成30年豪雨の際は、近隣市町でも大規模停電が発生しました。さらには、新型コロナウイルスの感染症対策としてテレワークやオンライン会議なども急速に進みました。こうした中で、強靭で持続可能な社会経済をつくるためのカギは「自立・分散型の地域づくり」であり、農山村地域にこそ食糧やエネルギー資源をはじめとする大きな潜在力があります。本町は、こうした強みを生かして、暮らしに必要なエネルギーを地域で生み出し、持続可能で自立的なまちづくりを進めます。



問＝まちづくり創造課　☎739-3412

町の木／スギ　町の花／タンポポ　町の鳥／ウグイス　町の面積 34.34㎢

人の動き

	人口	男	女	世帯数
R2.7月末日	19174人	9150人	10024人	8655世帯
前月比	−5人	−2人	−3人	3世帯
	転入等	転出等	出生	死亡
人口前月比の内訳	48人	40人	2人	15人